

2023年2月13日

各位

会社名 GMO TECH 株式会社
 代表者名 代表取締役社長 CEO
 鈴木明人
 (コード: 6026 東証グロース)
 問合せ先 取締役 染谷康弘
 (TEL: 03-5489-6370)

当社親会社 GMOインターネットグループ株式会社
 代表者名 代表取締役グループ代表
 会長兼社長執行役員・CEO
 熊谷正寿
 (コード: 9449 東証プライム)

通期連結業績予想と実績との差異並びに個別業績の前期実績値との差異 に関するお知らせ

2022年11月7日に公表いたしました通期業連結績予想と、本日公表いたしました2022年12月期の通期連結決算数値との間に差異が生じたとともに、2022年12月期の個別業績と前期実績との間に差異が生じたので、以下の通りお知らせいたします。

1. 通期連結業績予想と実績との差異 (2022年1月1日~2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 5,000	百万円 100	百万円 80	百万円 △370	円 銭 △351.99
当期実績 (B)	5,456	226	206	△295	△282.13
増減額 (B-A)	+456	+126	+126	+75	+69.86
増減率 (%)	+9.1%	+126.8%	+158.3%	—	—
(参考) 前期実績 (2021年12月期)	4,252	△258	△261	△288	△271.71

(差異の理由)

2022年12月期の連結業績につきましては、前回発表予想を上回りました。

売上高について、集客支援事業の2022年第3四半期までの好調が第4四半期についても継続し、特にアフィリエイトサービスに関して、ゲームやツール系などアプリ顧客の受注が進み、2022年11月7日付で発表した前回業績発表の数値よりも伸長しました。

2022年第4四半期には、中期の時間軸で成長することを目指し、事業基盤を拡充する為に、戦略的投資を行いました。売上高の増加により、営業利益、経常利益、純利益についても、通期の業績として前回発表を上回る結果となりました。

2. 個別業績の前期実績値との差異 (2022年1月1日～2022年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回実績 (A)	百万円 4,135	百万円 169	百万円 172	百万円 145	円 銭 137.53
当期実績 (B)	5,352	503	492	△654	△620.44
増減額 (B-A)	+1,216	+334	+319	△800	△757.97
増減率 (%)	+29.4%	+197.9%	+185.1%	—	—

(差異の理由)

2022年12月期の個別業績につきましては、集客支援事業の成長により、売上高、営業利益、経常利益は大きく増加しましたが、不動産テック事業の将来見通しを下方に修正したことに伴い、子会社であるGMO ReTech株式会社の株式の減損、及びGMO ReTech株式会社への貸付金の貸倒引当金を計上するなどして特別損失が発生したこと等に伴い、当期純損失654百万円となりました。

以 上